



みつはし 三橋さぶろう

議会活動報告

消防局と消防団

8月26日(日)は船橋市総合防災訓練の日でした。私は消防団員として習志野台第一小学校で行われた防災訓練に参加し、避難所の開設、仮設トイレの組み立て、無線機のテストなどを体験してまいりました。

本年度6月には大阪北部で震度6弱の地震が発生。7月には西日本で豪雨災害が発生しており、日本各地でどのような災害が発生するかわかりません。また、地震調査研究推進本部の地震調査委員会は6月に、30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率が千葉市では85%と発表していますので、より一層災害対策を強化する必要があります。

大震災が発生した場合、ケガ人が多く発生し、救助が必要な方もできます。さらに複数の火災が発生する恐れがあり、船橋市消防局の常備消防だけで対応することは困難です。このようなときには一般市民の方々から構成されている「消防団」が不可欠です。

現在、船橋市消防団は20の分団(59班)があり、652名の団員(内、女性が17名)が62台の消防車両と災害に対応できる資機材を備えており、災害があれば消防局と連携し活動できる体制になっています。

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(39歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・健康福祉委員会 ・会派 民主連合
- 特 技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族:妻、息子(5歳)、娘(3か月)

(表面から)

しかし、私が消防団で経験し感じたことですが、消防局と連携して災害に対応するためには、まだ改善するべきことが多々あります。特に、消防団に50mmホースと媒介金具(経口が異なるホースをつなぐ器具)の配備は急務です。消防団に配備されているホースは65mmしかありません。

なぜ50mmホースと媒介金具が必要かという、消防局では火災の際に消防車(ポンプ)から65mmホースを伸ばし、火災現場近くになると分水器に接続。そこから50mmホースを伸ばして消火活動をしています。しかし、消防団があとから到着し分水器に65mmホースをつなごうとしても、経口が合わず接続できなくて放水できない場合があります。こうした問題を防ぐためにも装備品の見直しが必要です。他の自治体を調査したところ、千葉県下54の市町村のうち14の自治体が消防団に50mmホースを配備しています。

50mmホースは重量が軽くて扱いやすいという利点があります。近年、消防団員の高齢化、女性団員の増加もありますので50mmホースが配備されると重宝されるとおもいます。災害対応能力を向上させるためにも50mmホースと媒介金具を消防団に配備することを、9月から始まる市議会で求めてまいりたいと思います。

三橋さぶろう市議会報告会

日 時：平成30年10月13日(土) 10:00~12:00

場 所：三橋さぶろう事務所 (駐車場はありません)

1時間ほど議会活動報告。その後、質問や要望をお聞きし意見交換させていただきます。
お仕事や学校帰りにお立ち寄りください。途中からの参加も可能です。

平成30年第3回定例会

9月3日(月)~10月10日(水)

市議会はインターネットでも中継されています。

議案や審議内容、日程等については議会ホームページをご覧ください。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

HP：<http://mituhashisaburo.jp>

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。